



T80

ゴルフ用距離計

スタートガイド

目次

1	クイックスタートガイド	1
	測定範囲; フォーカス調整; "MODE" ボタンの機能; スロープスイッチ; 三角測量モード(メイトモード); レンジモード; ピンロック機能(連続スキャン対応); スロープでの測定例	
2	製品仕様	18
3	画面表示の説明	19
4	付属アクセサリ	20
5	各部名称	21
6	充電&注意事項	22
7	安全ガイドライン	25
8	操作と測距精度	28
9	メンテナンスとお手入れ	28

クイックスタートガイド

測定範囲

測定可能距離:5~1000ヤード

樹木検知可能距離:5~500ヤード

ピンログ測定可能距離:5~400ヤード(レンジモード)

フォーカス調整

レティクル(視野内の目印)と対象物が明確に目に映るまで、アイピースを回転してください。

T80 距離計には調整可能なアイピース (+/-3ディオプター) が備わっており、視力の低い方でもメガネやコンタクトご利用の方でも液晶ディスプレイを明確に視認いただけます。

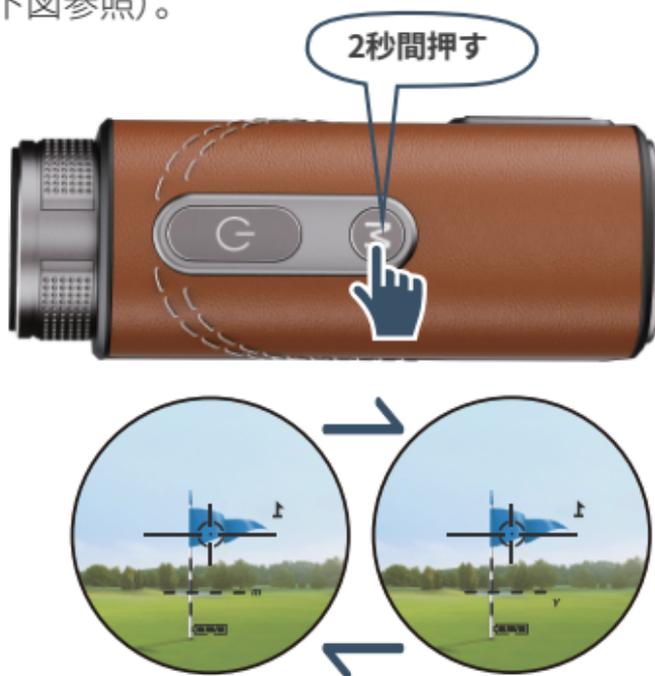


MODEボタンの機能

【1】単位切り替え

単位を切り替えるには、「MODE」ボタンを2秒間長押しすることで「Y」(ヤード)と「m」(メートル)を変更します。

T80距離計は、メートル単位とヤード単位で距離を測定でき。測定単位の表示はLCD画面の右下部分に表示されます(下図参照)。



【2】モード切替

「MODE」ボタンを一度押すことで、距離測定モードとスキャンモードを切り替えられます。

スロープスイッチ

スロープ補正機能をオフにするには、「slope」ボタンを押してください。

ディスプレイ上部に表示されていたスロープ補正距離と角度が非表示になり、下部の直線距離のみが表示されます。



この機能はこの機能は一般的なトーナメント規則に対応しておりますが、実際の規則を確認の上ご利用ください。スロープ補正を再有効化する場合は、再度「slope」ボタンを押してください。

LEDランプ表示

外部にステータスインジケータを装備しております
スロープ補正のON/OFF状態を視覚的に確認可能です
(下図参照)。

インジケータ点灯:スロープ補正OFF(競技モード)

インジケータ消灯:スロープ補正ON(練習モード)



インジケータ点灯

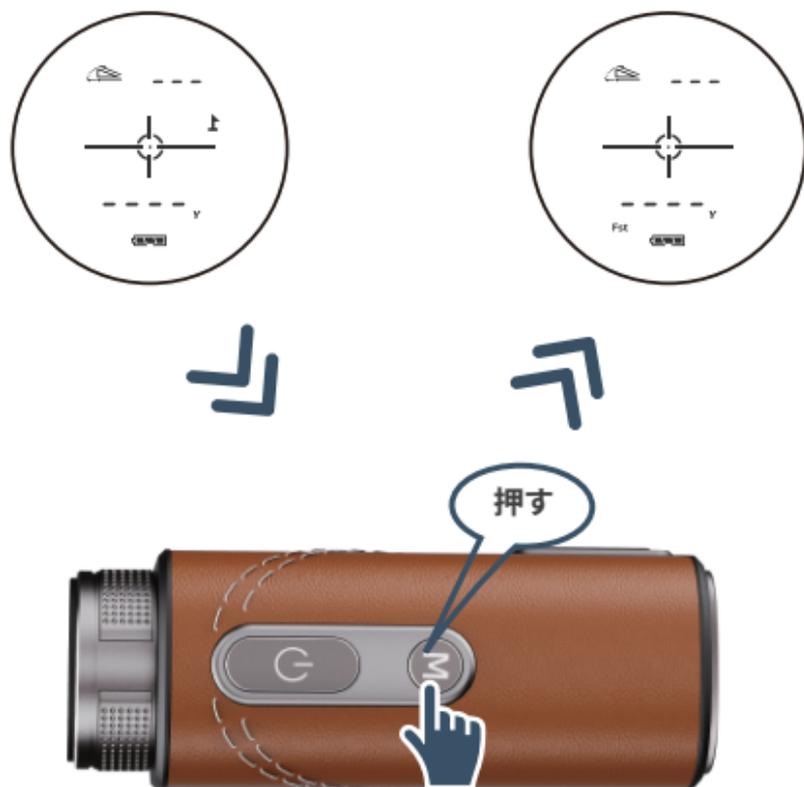


インジケータ消灯

三点距離測定モード(メイトモード)

利用方法

三点測定ボタンを押してメイトモードのオン/オフを切り替えます(下図参照)



機能概要

メイトモードでは、同伴プレイヤー-(メイト)の現在位置からピンフラッグまでのスロップ補正距離・角度・直線距離を測定できます。



Fst ユーザ-からフラッグまでの距離を測定します。

Lst ユーザ-からメイトまでの距離を測定します。

メイトからフラッグまでの距離が表示されます。

操作方法

【1】「POWER」ボタンを押して電源を入れて、続いて三点測定ボタンを押してメイトモードをオンにします。接眼レンズに目を当てて、以下の図のような画面が表示されます。

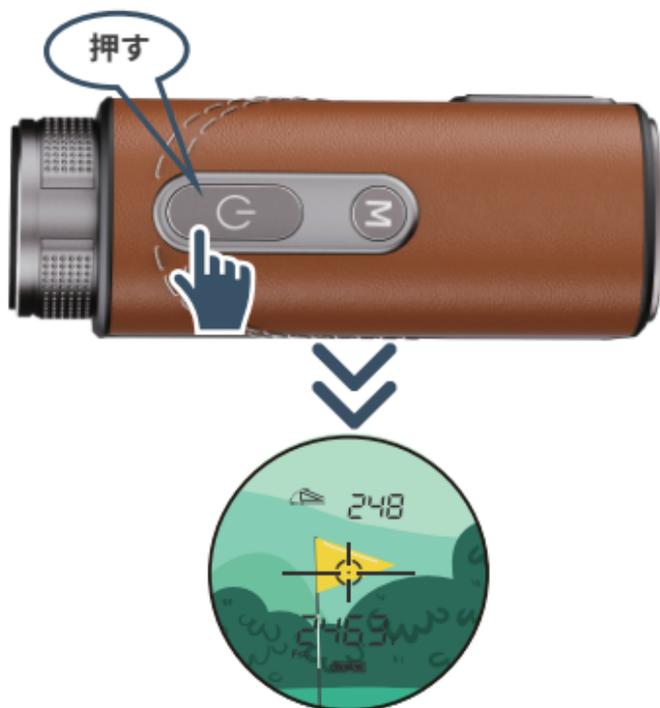
(下図参照)

【2】Fstが点滅時は、フラッグに照準を合わせ

(Fstの距離はユーザーからピンフラッグまでの距離)

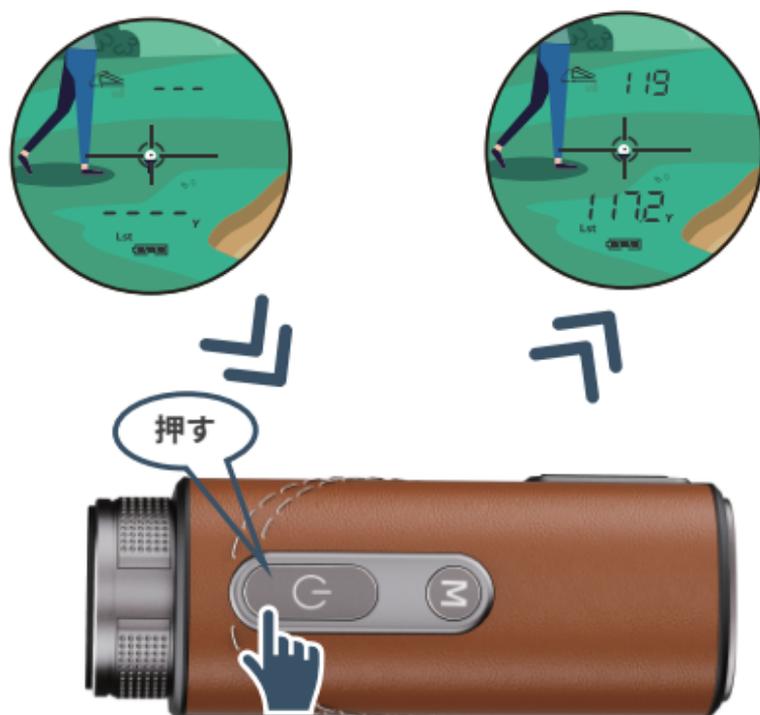
「POWER」ボタンを押して測定してください。

測定後、画面にフラッグまでのスロープ補正距離・角度・直線距離が表示されます。

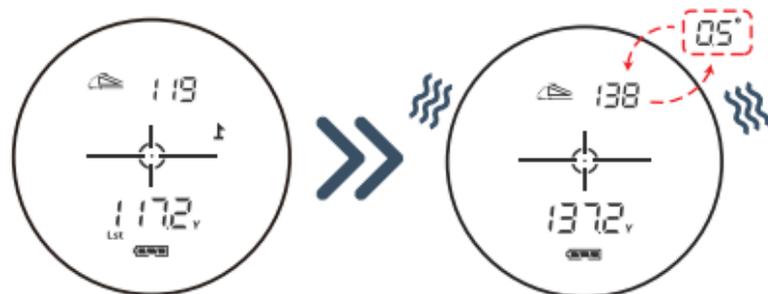


【3】Fst測定完了後、 ∞ Lstが点滅し始めます。メイトに照準を合わせ、「POWER」ボタンを押してメイトまでの距離を測定してください。(Lstの距離はユーザーからメイトまでの距離)

【4】メイトまでの距離を測定後、画面にユーザーがメイトに対する角度、スロープ補正距離と直線距離が表示されます。



【5】2秒間待ってから画面上の表示が自動的に変わります。画面に表示されているメイトからフラッグまでの角度、スロープ補正距離と直線距離が変わります。



2秒待つ

ヒント:

Fst/Lstの測定距離ができない場合は、改めてフラッグまでの距離を測定してください。

本製品は8秒以上未使用時には自動的に電源が切れますため、「三点測定モード」を再度起動するには、上記の手順を繰り返してください。

三点測定モードでは、単位の切り替えとスロープのオン/オフをすることができません。

レンジモード

【1】 接眼レンズを通して画面を見ると、以下の画像のように表示されます。

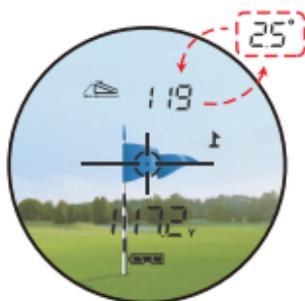
ヒント: モードがレンジモードに切り替わっていることを確認してください、右に表示されます。

【2】 操作方法

レンジモードに切り替えたら、再び "POWER" ボタンを一回押して測定します。(操作が8秒間行われな場合、自動的に電源オフになります。)

画面中央にある照準マーカを5ヤード以上先のターゲットに合わせ、"POWER" ボタンを押してすばやく指を離します。距離とスロープ補正距離、角度が液晶ディスプレイに表示されます。

上り坂/下り坂の放物線距離については、16ページの「ゴルフモード使用例」を参照してください。



ヒント: ターゲットと背景の区別がはっきりしている場合、またはターゲットサイズが大きい場合、"POWER" ボタンを押して測定するだけでレンジモードを使用することができます。背景との区別がはっきりせず、"POWER" ボタンを押しても距離を測定するのが難しい場合、スキャンモードを使用してください。

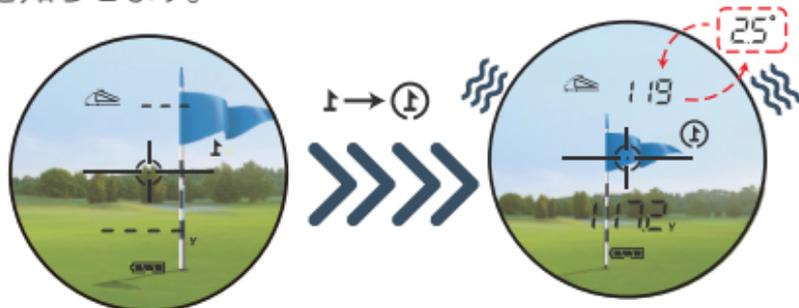
ピンロック機能(連続スキャン対応)

ロックモードアイコン説明

フラッグのロックに成功すると、フラッグマーク上にアイコン  が表示されます。

1. ピンロック機能(遠→近自動ロック型)

操作方法: 「POWER」ボタンを押したまま照準を横方向で移動し、ピンフラッグを検知した際、フラッグマークに円形アイコン  が表示され、振動フィードバックで距離の確定を知らせます。



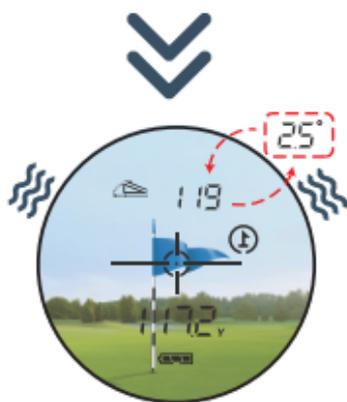
スキャン中

ピンロック済み

2. ピンロック機能(フラッグ照準型)

操作方法:

ピンフラッグに照準を合わせ、静止した状態で「POWER」ボタンを押すと、距離測定できた場合振動でフィードバックします。



注記:

ピンロック機能は、前後に約5メートルの背景差があるターゲットに対して有効です。背景差がない場合や、背景との差が測定可能距離を超えて遠すぎる場合、ピンロック機能は振動せず、通常の数値表示のみとなります。

50ヤード以上の距離でピンロック機能と連続スキャン機能を使用することが可能になります。

ロックに成功した後、"POWER"ボタンを押し続けてより近いターゲット(6ヤード/約5メートル以上)に照準を合わせると「連続スキャン機能」が起動し、自動でより手前のターゲットの距離を測定することができます。

注意1: "連続スキャン機能"を有効にすると、最大10秒間スキャンを続けることができます。

10秒後、スキャンは停止し、画面には最後に測定したターゲットのデータが表示されます。

注意2: "連続スキャン機能"を使用する際は、ロックが成功した後"POWER"ボタンを離さずに、最初のターゲットより手前に向けてください。

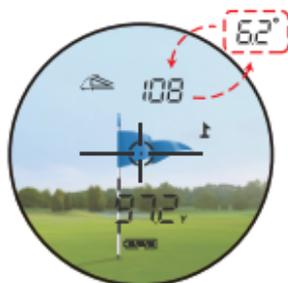
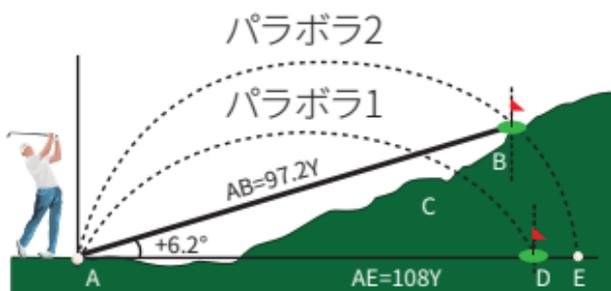
注意3: この「連続スキャン機能」を再度使用するには、上記の操作を繰り返してください。

スロープでの測定例

上り坂の距離測定:スロープの距離は直線距離よりも遠くなります。

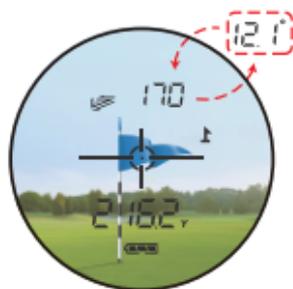
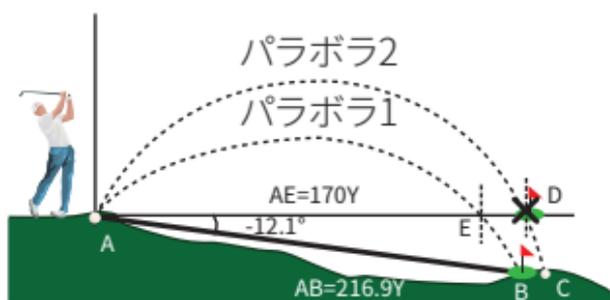
ABポイント間の距離=ADポイント間の直線距離は97.2ヤードです。パラボラ1で測定された距離に従ってボールを打つと、傾斜角は+6.2度となり、ボールはの着地点がポイントCになります。

ポイントBに到達するためには、パラボラ2の軌道に沿って打つ必要があります。この時の実際の打距離は、ポイントAとポイントEの間の直線距離、すなわち108ヤードになります。



下り坂の距離測定:スロープの距離は直線距離よりも近くなります。

ABポイント間の距離=ADポイント間の直線距離は216.9ヤードです。パラボラ2で測定された距離に従ってボールを打つと、傾斜角は-12.1度となり、ボールの着地点ははポイントCになります。ポイントBに着地するためには、パラボラ1に沿って打つ必要があります。この時の実際の打撃距離は、ポイントAとポイントEの間の直線距離、すなわち170ヤードになります。



製品仕様

モデル	T80
サイズ	96.5*59.3*35.3 mm
重量	132 g
電源	3.7V 450mAh
測定可能距離	5~1000Y
樹木検知可能距離	5~500Y
ピンフラグ測定可能距離	5~400Y
測定誤差	±0.5Y
ズーム倍率	7X
対物レンズ直径	20mm
接眼レンズ直径	15mm
瞳孔径	3.3mm
レーザー波長	905nm
レーザータイプ	Class 1
屈折度調整範囲	±3°
動作温度	-10~50°C
保管温度	-20~60°C
防水規格	IPX4

画面表示の説明



- ① 上り坂表示:目標が上り坂にあります
下り坂表示:目標が下り坂にあります
- ② 照準マーク:測定したいターゲットを中心マークに合わせてください
- ③ 測定距離:直線距離
- ④ 三点距離測定モード(メイトモード)
- ⑤ 表示サイクル:スロープ→角度→スロープ
- ⑥ ロックアイコン:アイコンが変化します
- ⑦ 距離単位表示
- ⑧ 電池残量表示

付属アクセサリー



- 距離計本体 *1
- 取扱説明書 *1
- 収納バッグ *1
- 化粧箱*1
- クリーニングクロス*1
- 充電用TYPE-C ケーブル*1

各部名称

"POWER"ボタン:電源/測定ボタン

モード/単位切り替えボタン
(m:メートル/Y:ヤード)

レーザー受信レンズ

レーザー発射レンズ

スロープ切り替えボタン

フォーカス調整アイ
ピース

充電ポートカバー



充電&注意事項



充電表示

電池残量表示は次の通り：



100%



60%



30%

充電表示灯:

充電時、充電ランプは点滅します。満充電になった場合、ランプが常時点灯に切り替わります。



充電中は点滅状態になります



満充電時は常時点灯に切り替わります

適切な充電器を使用してください：

本製品はUSB C-Type ポートを搭載しています。充電ポートは5 V/1 Aまで対応しているため、必ず5 V/1 A以内の電源アダプターで充電してください。急速充電対応の電源アダプターを使用すると製品が破損したり、充電できなくなる恐れがございますので、絶対に使用しないでください。また、本製品に電源アダプターは同梱されていません。

充電時間：

初めてご使用する前に、距離計を満充電にすることをお勧めします。一般的に充電時間は約2～3時間です。

ヒント：

満充電時、最大12000回測定できます。充電しながらのご使用はできません。

過充電にご気を付けください：

満充電になったら速やかに充電器を抜いてください。長時間充電器を刺したままにすると過充電となり、電池の寿命に悪影響を与える恐れがございます。

注意：漏電、発熱、発火などの恐れがあるため、製品の分解と改ざんはご遠慮ください。火気や高温環境での保管・使用を避けてください。

安全ガイドライン

- 製品を不意に落としたとしても、製品をさらに損傷させる可能性があるため、分解や、ご自分で修理をお控えください。異常や故障がある場合は、カスタマーサービス窓口にお問い合わせください。
- 本製品の動作温度は-10° C~50° Cです。動作温度範囲内でのみ器具をご使用ください。急激な温度変化がある環境でのご使用を避けてください。
- 製品を直射日光、高温、または低温の環境下に長時間放置すると故障する恐れがあります。(例:車のトランク内など)。
- 直射日光を直接レンズに当てたり、太陽を覗く行為は大変危険ですのでお控えください。
- 基盤が故障する恐れがあるため、強い磁気が発生する環境で本製品を使用または保管はお控えください。
- 製品を長期間使用しない場合は、バッテリーを取り外し、日が当たらない乾燥した場所で保管してください。
- 製品を絶対にご自分で分解、改造、修理しないでください。器具の損傷、またはレーザー放射による視覚損傷やその他障害を引き起こす恐れがあります。

- ほこりの多い場所でのご使用はお控えください。
- 製品は防水機能を備えていますが、完全防水ではないため、故意に濡らしたり、水に浸けたりしないでください。ボタン周りに水気がある場合は、拭き取ってからご操作ください。水の中では使用しないでください。
- 使用する際は、バッテリーカバーがしっかり閉まっていることを一度ご確認ください。

警告!



- レーザー受信レンズを絶対に覗かないでください。
- 他人の目に絶対レーザーを向けないでください。
- 部品を自分で取り外さないでください。
- お子様の手が届かない場所で保管してください。

注意!

- 寒い場所から急激に暖かい場所に移動すると、外部および内部の部品に結露が発生することがあります。デバイスを一度防水のプラスチック袋などに入れ、室温が上がった後に取り出すことで結露を防ぐ事が可能です

●故障を防ぐために、製品を次の場所に保管しないでください：

1. 換気が悪く、湿度が高い場所；
2. 太陽にさらされた車内またはトランクなど；
3. 湿度が90%以上の環境。

**レンズを太陽の下に保管または配置しないでください。
LCDディスプレイが損傷する可能性があります。**



操作と測距精度

T80 レーザー距離計は、目に見えない、安全な赤外線エネルギーのパルスを発射します。高度なデジタル技術により、各パルスが距離計からターゲットまで移動し、再び距離計に戻るまでの時間を測定することで距離を即座に計算します。

ターゲットの色、表面の質感、サイズ、鋭さによっては、反射率と距離に影響を与える場合があります。

ヒント:300メートルまでの目標物の測定値は小数点以下1桁まで表示され、300メートルを超えると整数値で表示されます。

以下の条件と環境では測定が難しくなります：

雨天または霧の中／ターゲットが小さすぎる／測定対象物の反射率が低い(暗い色、複雑な形状、曲面、水面、ガラス面、鏡面など)／バッテリー残量が少ない。

メンテナンスとお手入れ

レンズ表面にコーティングを施しているため、なるべく指で直接触れないようご注意ください。

汚れなどがあるさい、レンズ表面をきれいな柔らかい布で優しく拭き取りください。

メール: service.jp@dormiegolf.com

www.dormie.jp

